

日商簿記 1 級&全経上級ダウンロード講座

【損益会計と特殊商品販売】

収録日：平成 26 年 1 月 14 日

【出題実績】

日商簿記 1 級商業簿記 過去問 120 回、128 回
全経簿記上級 過去問 168 回

<サクッと受かる日商簿記 1 級 1 (純資産・損益会計編) 改訂六版 P193-232
<スッキリわかる日商簿記 1 級 I (損益会計編) 第 4 版 P62-116
<検定簿記講義 (商業簿記) H25 年版 P8~13

日商 1 級や全経上級を学んだ証に、損益計算書の構造はしっかり押さえて下さい。

特殊商品販売は苦手にする人が多い論点ですが、日商簿記の本試験では 6~8 回に 1 回くらいでの出題で、得点も 4~8 点くらいです。

あまり深入りするのは禁物です。

特に各社の予想問題では難しい問題が出ており、その対策に時間を取る事は得策ではありません。

それに対して全経上級は比較的簡単に得点を積み重ねる事ができます。

本日の講座で得点を積み重ねる感覚を養ってください。

第1章 損益計算書 (Profit and Loss Statement)

損益計算書も総額主義の原則が適用されます。

5つの利益を理解しよう

売上高

売上原価

< 商業 >		< 製造業 >	
期首商品棚卸高	1,000	期首製品棚卸高	1,000
当期商品仕入高	15,000	当期製品製造原価	15,000
合計	16,000	合計	16,000
期末商品棚卸高	2,000	期末製品棚卸高	2,000
売上原価	14,000	売上原価	14,000

※当期商品仕入高：当期に当社が所有権を取得した金額

売上原価：当期に当社が所有権を放棄した金額

このように考えると、未着品や割賦戻り商品の期末仕訳が理解できます。

(売上総利益) 取扱商品の収益力を示す

販売費及び一般管理費

(営業利益) 本業の収益力を示す

営業外収益

営業外費用

(経常利益) 財務損益もあわせた経営努力の結果を示す

特別利益

特別損失

(税引前当期純利益) 法人税等の計算の元になる利益を示す

法人税、住民税及び事業税

法人税調整額

(当期純利益) 配当原資の最終利益を示す

※期末商品や期末製品は一般的に実地棚卸によって確認します

簿記の試験では、期末実在庫数が帳簿在庫より多い問題は出ませんが、実務では帳簿在庫数よりも実地棚卸数が多いケースもあります

<損益計算書のルール>

発生主義の原則

経済の発展過程の初期には現金の受払いで利益の計算を行っていた。
信用経済の発達とともに、現金主義では正確な利益計算ができなくなり、発生主義が登場しました。

実現主義の原則

価値の増加を発生とみなすと、工場で作っている途中のものまで収益計上する必要があります。そこで収益の計上に関しては対価の受け取りが確実になった時点にします。

実現主義の例外として長期工事の収益計上があります。

費用収益対応の原則

実現主義にもとづいて収益を計上したなら、それに対する費用を発生主義にもとづいて計上し、収益と費用を対応させて損益計算書に表示します。

<具体例>

@100 で 10 個仕入れた（発生主義で処理）

仕入 1,000 / 買掛金 1,000

@200 で 4 個売上

売掛金 800 / 売上 800（実現主義で処理）

費用を収益に対応させる（費用収益対応の原則）

繰越商品 600 / 仕入 600

特殊商品売買の処理

まず 2 級のテキストの内容はしっかり復習しておいて下さい

1. 委託販売の考え方

手許商品区分法の「その都度法」「期末一括法」の処理と、それぞれの場合の前T/Bの各勘定の意味を押さえて下さい

2. 試用販売の考え方

対照勘定法の考え方を理解しよう

試用販売契約と試用仮売上の金額は常に同額

客先に試送して未確定状態（要は自社在庫扱い）の金額が売価で表示されています

3. 手許商品区分法と対照勘定法による仕入 a/c の動きに注目しよう

全経の問題の解説（有料講座）を参考にして下さい

4. 本試験では、損益計算書を上から順番に解くようにしよう

日商の本試験では、資料の多い特殊商品売買の問題が出たら、他の論点で確実に点を重ねて（特殊商品売買以外で、悪くても 18/25 点はあります。うまく立ち回ってください）

全経上級168回の問題を解いてください。損益計算書の上から順番に考えていき、確実に加点していきましょう。

解説は有料講座にて行います

<割賦販売>

解答要求に戻り商品損失があります。

処理済みの戻り商品損失 85,000 円はどのように計算したかを考えれば簡単に回答は出ます

<委託販売>

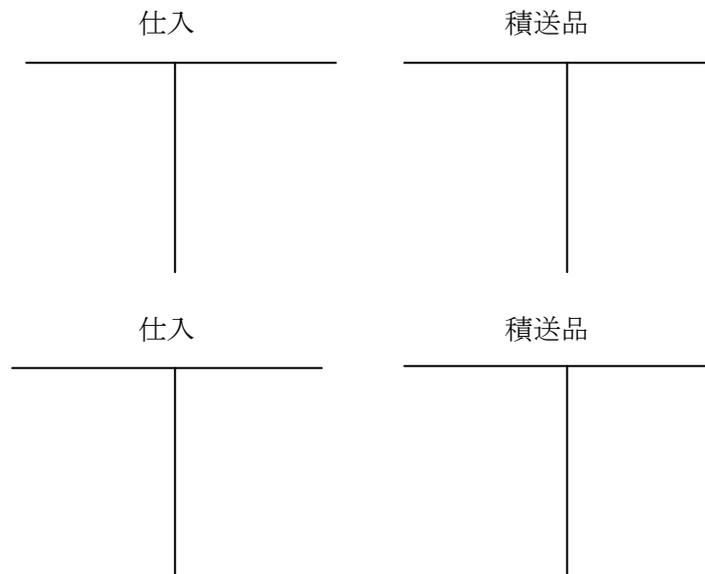
仕入と積送品勘定の流れを確認できれば簡単に当期商品仕入高は把握できる

(例)

仕入 100 / C 100

積送品 40 / 仕入 40

仕入 20 / 積送品 20



<試用販売>

利益率 35%という事は原価率 65%

原価 97,500 円という事は売価は $97,500 \div 65\% = 150,000$

これは売上処理で振替える必要あります

<棚卸減耗費と商品評価損は2級レベルの問題>

<期末商品棚卸高>

手許商品の帳簿残高は簡単

積送品の残高は？

3/25日の売上計上により、期末の積送品残高は算出できます

試用品は対照勘定→対象勘定残高は未販売の売価をあらわす
という事は原価率を乗じれば期末残高は算出できます

これを全部足してあげれば良い